

令和7年度 とうきょうすくわくプログラム 活動報告書 アンジェリカ目黒本町保育園

テーマ	音楽や演劇で心を育む表現活動		
テーマの設定理由	当園では「非認知能力の成長」を重視する保育方針のもと、自己選択活動の環境を設定し、保育の充実を図っています。その活動をさらに推進するため、非認知能力の成長に直結する「音楽演劇表現活動」を実施したいと考えました。子ども一人ひとりが自分自身の個性を安心して発揮できる子ども主体の環境において、子どもの活動が大人によって過度に制約されない「自由」が保障されていることは非常に重要な要素であると考えています。子どもたちが主体的に取り組むことができる表現活動を通じて、保育者と子どもたちが共に、保育環境における「子どもの主体性」と「自由」について考えることは、子どもたちの「非認知能力の成長」にとって有効であると考えました。		
対象クラス・人数	4歳児 10名 ・5歳児 7名		
テーマ実施期間・回数	4月～翌3月 4・5歳児別クラス活動 月1回(全12回) 1回90分		
ねらい・内容	「音楽を使いながら、他者を認め(他者理解)演劇というツールで自分を理解する(自己理解)」ことをテーマに、「表現活動を通して子どもたちが協働する場」を設定します。非認知能力の成長のために重要な要素の一つは、人的環境の多様性です。子ども向けの表現活動を日ごろから実施しているプロアーティストにかかわっていただき、最大限の想像力と集中力を養いながら、発想力、想像力、協調性、コミュニケーション能力…全てを遊ぶように学んでいきます。みんなで歌い、それぞれの役割を見つけ、「みんなで協力して発表する」までをワンストップで行うプログラムです。		
保育者の思い	子どもたちが聞き馴染みのある曲に合わせて身体を動かし、言葉だけでなく全身使って表現し、プロの方の演奏や歌声と共に楽しく活動へ取り組むことが出来るようにしていく。表現の楽しさを友達と共有し、一緒に励まし合いながら発表することに自信を持ち、自身の役割をやり遂げることができるよう取り組んでいきたい。		
活動スケジュール及び振り返り			
月	内容	活動	振り返り
4月	リトミックで音遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトミックを通じて音の高低や強弱を感じる。</li> <li>・様々なリズムに合わせて体を動かす。</li> <li>・音楽に対する興味を引き出し、体全体で音楽を楽しむ。</li> </ul>	5月より開始。初めての取り組みに講師とのやりとりで緊張していた。スカーフを使う際は「あかがいい」など使いたい色を伝えたり、子ども達同士でスカーフを見せ合う姿があった。緊張する子には一緒に講師に伝えて行ったりと援助をしていた。また講師と連携を取りながら進めていった。講師の姿を見てプロの音楽や歌声に感動していた。驚きや感動を共にしながら表現活動に取り組んでいた為引き続き楽しく参加できるように関わっていきたい。
5月	物語からのごっこ遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌や楽器を使ったごっこ遊びを通じてストーリーを作り出す。</li> <li>・音楽を使った表現力の向上と創造力の芽生え</li> </ul>	二回目は緊張もしていたが楽しみにする子が多かった。さんぼの曲では歌詞にある坂道を下る、砂利道を歩くなど口ずさん見ながら表現していた。また友だちと一緒に楽しむ姿もあった。緊張している子は保育者と一緒に手を繋いで参加していった。全体的に前回より楽しんで参加していた。引き続き講師と連携を取りながら進めていき子どもたちの表現も大切にしながら関わっていった。
6月	ピアノの音で動いたり止まったり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの音に合わせて動いたり、音が止まったら動きを止めるなど。</li> <li>・リズム感や集中力を養う。</li> </ul>	「おおきなかぶ」の劇遊びを楽しんでいった。絵本を見て「おばあさん役がいい」など子どもたち同士でやり取りをする姿があった。役をみんなで決めながら「うんとこしょどっこいっしょ」と息を合わせて演じる楽しさを味わっていた。ひつつきもつきでは、4・5歳児で表現の仕方が大きく異なっており、4歳児は主に、個人やペアになって表現する姿が見られましたが、5歳児は全員で表現しようとする姿が見られました。同じ活動でもこんなに違いがあることを知り、とても面白かったです。
7月	リズムの可能性との出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなリズムを打楽器を使って体験。</li> <li>・リズムを組み合わせて演奏。</li> <li>・リズム感を育て、楽器演奏の楽しさを知る。</li> </ul>	様々な打楽器を見て興味を高め、リズムに合わせて手づくりパチで演奏会を楽しむことが出来た。パーカッションのせいじ先生が来園し、様々な楽器の音色を楽しんだ。ジャンベというアフリカの太鼓やカワベル、チャイム等のなかなか見ることのない楽器に子どもたちも興味津々で「どんな音がなるんだろう」と楽しみにする姿が見られた。絵本「ドオン！」では、様々な擬音語に合わせて手リズムを取ったり、手作りパチで叩いてみたりして楽しみ、大型絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせでは生演奏と共に、物語を楽しんでいた。「いろんな楽器があるんだね」「これは優しい音がするな～」など、音の違いも聞いて、それぞれの音色を楽しむことが出来ていた。引き続き子どもたちが楽器に興味を持てるように保育でも楽器に触れていきたい。
8月	打楽器との出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器に触れる機会。簡単な曲と一緒に演奏。</li> <li>・打楽器の特性を理解し、協力して演奏する楽しさを体験。</li> </ul>	4月に行えなかった分として8月に2回行う。バイオリン講師が来園し、変更して行った。「さんぼ」をバイオリンとピアノの演奏に合わせてゆっくり、速くと移動にアクセントをつけながら行い、それぞれが自由に表現することを楽しむことができた。バイオリン奏者の講師の方と一緒に、ピアノ、バイオリンの音色を楽しんでいた。初めてバイオリンを見る子も多く、「絵本で見たことある」や「テレビでやってた」と興味深く見つめる姿があった。絵本を生演奏で見たり、演奏に合わせて動物になって体を動かしたり、一緒に楽器演奏をしたり最後はバイオリンの弦にそっと触れて音を鳴らしてとても嬉しそうに喜ぶ姿があった。前回のパーカッションに触れた為楽器の違いに気づく姿が見られた。子どもたちが発する思いを大切にしていきたい。
	弦楽器との出会い	・バイオリンとコントラバスの紹介。音の違いを	内容をフルートに変更して行う。今回はフルート奏者の方が

9月		<p>実感。各楽器の演奏を観察。 ・弦楽器に対する理解を深め、音色の違いを楽しむ。</p>	<p>来てフルートの音色を聞いたり「カエルの歌」「きらきら星」の輪唱や、絵本「スイミー」をフルートの生演奏と共に見ていき、「なんかおとがちがう」と楽器によって音が変わるとに気づく姿があった。また、「さんぼ」の曲に合わせて好きな生き物に変身し、魚やクラゲ、サメなど色々な生き物に変身し表現を楽しんでいた。回数も重ねてきたことで、少しずつ子どもたちも慣れてきて新しい表現方法を取り入れていたの で、一人ひとりの表現を受け止めていった。</p>
10月	バイオリンとコントラバスって音が違う	<p>・音の違いを体験した後、簡単な合奏に挑戦する。 ・異なる音色のハーモニーに気づき、演奏の楽しさを味わう。</p>	<p>8月に行ったため、今月は取り組みを変更した。ハロウィンおぼけでは自分なりのお化けになりきってダンスを楽しんでいた。どんな変身をしたか考えて、ネコさんやプリンセス、おぼけなど、音楽に合わせてなりきる姿があった。また子どもたちが好きな「忍者ってなんじゃのもんじゃ」をしたり、「ひつつきもつつき」では一人で、ペアで、みんなで、、、と人数を増やしなから、手と足、背中と頭をくっつけて遊んでいた。振り返りの時間では、「ぜんが楽しかった！」と振り返る姿があった。引き続き、子どもたちが「たのしかった」と感じられるよう保育者も率先して取り組んでいきたい。</p>
11月	管楽器との出会い	<p>・フルートとクラリネットの紹介。それぞれの吹き方を学ぶ。 ・管楽器の特徴を知り、音を出す楽しさを体験。</p>	<p>9月に行う。今月はピアノの生演奏を目の前で見たことで、指の動きや様々な音の違いを楽しんでいた。「どんな曲が好き？」と講師から問いかけられると、「アンパンマン」「アリエル」「アナと雪の女王」「マリオがいい〜」と様々なテーマソングなどの曲を披露して頂き、「すごい」と迫力に姿があった。また、ピアノの音に合わせて「さんぼ」で動いてみたり、4歳児クラスは発表会で行うブレイメンの音楽隊に出てくる動物にもなりきっていったので、発表会でも取り入れていきたいと感じた。</p>
12月	山の音楽家はみんな音が違うのにハーモニーができる	<p>・これまで習った楽器を使って、みんなで一緒に奏でる時間を設ける。 ・異なる音色が調和することの大切さを学ぶ。</p>	<p>内容を変更し、12月ということもあって楽器ではなくクリスマスソングにちなんだ表現活動を行っていた。子どもたちは各々サンタクロースになりきり、スカーフを使用してそりを表現したり、5歳児は発表会で使用するプレゼントを箱を用いて「ふくろにしよう」とプレゼントをスカーフで包む姿が見られた。他にもマントのように体に身につけながら楽しんでいた。スカーフ1枚が、子どもたちの発想によって様々な形に変わり、講師・職員間でも「この表現方法があったんだね」と話しあっていた。子どもたちの表現は大人では思いつかないものがどんと出てくるので引き続き子どもたちが安心して表現できるような環境づくりを行っていききたいと感じた。</p>
1月	声という楽器を持っている発見。ごっこ遊びから、お芝居を作る。	<p>・声を使った歌や手拍子の演奏。声の大きさや音色を意識。 ・声も楽器の一部であることを理解し、自分の声を大切にする。 ・物語と音楽が繋がることでより想像力が豊かになることを目的とする。</p>	<p>内容変更し、4・5歳児共に、「かみなりどんがやってきた」でおおそやお腹などを隠したり、「さんぼ」の歌に合わせて動物になりきっていた。また、スケートにも挑戦し、導入の絵本「アイススケートペンギン」を見たことで子どもたちもスケートの連想ができ、「エルザみたい〜」と話したり、最後にはポーズを決める姿があった。他にも、さりんぐくみはスカーフを用いて自分の好きなものを決め、ヒントを出しながら友だちに答えてもらい楽しんでいた。想像して声を掛け合うなかで、相手への関心や思いやりの気持ちが育ってきていることを実感した。</p>
2月	ルールを決めて、みんなで作品を作ってみよう。楽器も声も、手拍子もお芝居も全部みんなでできるんだ！	<p>・今までの歌と楽器の演奏を組み合わせた合奏を行う。 ・演奏の一体感を体験し、作品を作る喜びを知る。自信を持つ。</p>	<p>楽器のピアノ・ウッドベースに合わせて歌ったり、音比べをして「しんぞうのおとみたい」と感想を話す姿があった。また絵本「三匹のやぎのがらがらどん」のやぎになってみようと、大中小それぞれのやぎになって橋を渡り、音楽し合わせて体を動かしてみても楽しんだ。さりん組は「あたまはれる」、らいおん組は「さよならぼくたちのほいくえん」を生演奏で歌い、「ちょっときんちょうした」と話す姿もあったが、普段の保育での活動も取り入れて下さったことで、親しみを持って参加することができていた。</p>
3月	まとめと演奏会・発表会・振り返り	<p>・子どもたちが参加したクラスでの演奏会を実施する ・各楽器や歌を披露しみんなで楽しむ。 ・1年間の学びを振り返り、音楽表現の楽しさを共に分かち合う。</p>	<p>始めは表現することに戸惑う姿もあったが講師と一緒に表現することの楽しさを学ぶ姿があった。1年間の総まとめとして、「ひつつきもつつき」や「かみなりどんがやってきた」を行い、初めは恥ずかしそうにしていた活動も「こうやったらいいかも」と意見を出したり、各々が堂々と表現する姿が見られ、職員間でも子どもたちの表現を受け止めることの大切さを実感した。</p>

